2013年(平成25年)
6月8日
土曜日 先負
報知新聞
第5399号
7版
スポーツ報知
西部本社
福岡市中央区赤坂1-16-5
郵便番号 810-8581
電話 092-715-4341
http://hochi.yomiuri.co.jp
©スポーツ報知西部本社
日刊(2013年)
平成10年3月25日
第三種郵便物認可
4910852010835 00124

報知ボーイズリーグスペシャル

医学+栄養学=八幡東ボーイズ

バランス感覚養うユニークな練習 疲労軽減2時間おきの食事

八幡東ボーイズ（福岡北）は創部2年目の新興チーム。昨年4月、北九州メディカル硬式野球クラブの愛称で誕生し、同年7月にリーグ加盟した。運営スタッフ全員が医療関係者という、少年野球チームとしては極めて珍しい存在として注目を集めている。

チーム紹介

故障しにくい体作り

医師、看護師、理学療法士に管理栄養士。八幡東ボーイズのスタッフには医療関係者がずらりと名を連ねている。昨年、医療事務に携わる石飛隆敏監督が発起人となってチームを設立。硬式野球経験者を専門医らの意見を参考にして作り、「医学、栄養学的サポートで、故障しにくい体作り」を第一目的として活動を開始した。

練習のプログラムはリハビリ感覚の養成や下半身の強化を図ったメニューが組まれている。プログラムに応じた体作りをするため、公式戦以外は通常練習に専念している。

栄養摂取の考え方も独特だ。昼食には少々早い午前11時前。選手たちは、ベンチでビスケット風のパンを口にしていた。"疲労度を高めないために、2時間おきに食事をとっています。食事の直前は体に負荷をかける練習をしますよ」と石飛監督。栄養学の視点から、定期的な飲食が体の強化につながると考え、10時間の練習中に食事時間は昼食を含めて4回ある。

こうした指導方法が話題を呼び、今春は1年生21人が入部した。練習は土、日曜と祝日。主に北九州市八幡東区中尾の扇大原自動車大学校グラウンドで行っている。

リーグ加盟から1年近くが過ぎたが、公式戦は未勝利。白星奪取が悲願となっている。医学や栄養学に基づいた指導だけではなく、「勝利の喜び」を味わうのも選手の成長に必要な"薬"の一つ。ただ一人の3年生部員が参加できる公式戦は、きょう開幕する選手権大会予選を含めて残りわずか。八幡東ナインは、一戦一戦全力で挑んでいく。

ガッツポーズで気合を入れる八幡東ナイン

練習の合間に食事をとる八幡東ナイン

選手一覧

選手名	学年	
高橋 勇人	3	捕
石飛新太郎	2	投
広滋支多郎	2	投
笹田 優人	2	投
柴野 裕大	2	投
橋本 直樹	2	投
宮司 晃紀	2	投
住本 裕之丁	1	投
牧嶋 翔吾	1	投
加治 昇也	1	投
藤田 裕雅	3	内
葛城慎之介	2	内
吉田 雅俊	2	内
上大川習聖	1	内
和間 皓洋	1	内
牧嶋 大樹	1	内
渡辺 翔太	1	内
多良木裕之丁	1	内
仲 春輔	1	内
渡部真之助	1	内
杉田 蒔	2	外
奥村トライ	2	外
今浪 雅也	2	外
恒賀 圭太	2	外
渡辺 喜一	1	外
宮村 情一	1	外
池田 優希	1	外
吉原 直紀	1	外
坂本 拓海	1	外
名倉 陽宙	1	外
林 健太	1	外
落合 高木鼓太郎	1	外
山脇 大河	1	外
纐纈 隆裕	1	外

卒部までに一勝

▼高橋勇人主将「野球は中学から始めました。守備位置はレフト。ホームへの返球が得意です。3月に、遊んでいるときに左ひざをけがして15針縫ったけど、色んな人がサポートしてくれました。3年生は僕一人なし、僕がいる間に1勝したい。一つ一つのプレーを大事にしていきます」

注目選手

現状では確固としたエースが不在だが、比較的登板機会が多いのは橋本直樹投手＝写真右＝。石飛監督は「冷静で丁寧に投げるタイプ」と評価しており、しっかりと体を作れば楽しみな存在だ。ほかに、牧嶋翔吾、藤田裕雅、柴野裕大、石飛新太郎選手らがマウンドに立つ。

攻撃は1番の吉田雅俊選手＝写真左＝がキーマン。チーム一の俊足で長打力も兼ね備えた左打者だ。172㌢、62㌔と体格に恵まれた笹田優人捕手＝写真中＝も攻守の要としてチームを支える。

試合では積極的に盗塁を仕掛けていくチーム。機動力により磨きをかければ、新チームとなる9月以降、上位に食い込んでもおかしくない。

チームの一体感感じられる喜び

▼森本久範代表「人とのつながりができたり、子供たちの成長、みんなで一つになろうという雰囲気を感じられるので、代表になってよかったと思います。子供たちには、体を壊さずに野球を続けてもらいたい。これから先、高校、社会人になっての活躍が耳に入ればうれしいですね」

医療と野球通じ地域貢献したい

▼石飛隆敏監督「北九州の医療機関が集まって草野球をやっていますが、その仲間たちと、地域貢献をしようと話が挙がったのが創部のきっかけでした。故障するリスクを避けるには、まず体作り。そのため、投手はひじの軟骨組織が大人（と同等）になるまでは変化球を禁止しています」

▼スタッフ 代表…森本久範、監督…石飛隆敏、コーチ…広滋恵一、鈴木裕也、長村俊志、山道光雲、山崎和博、蔡尾宇宙、水津文昭、浜辺新、勝本聡志、竹下保三、山田祐太郎、和田沙央理、田中亜衣子、川口由美、竹下貴大

▼連絡先 093・884・3904（石飛監督）

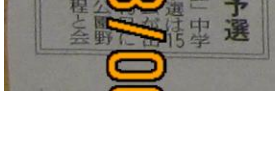
佐賀東松&清武 本戦出場決定

「2013ホークスカップ中学硬式野球大会」の西九州、宮崎県、鹿児島県支部の3支部代表決定戦が1日、熊本県山鹿市の市民球場で行われ、佐賀東松ボーイズ（西九州）と清武ボーイズ（宮崎）が本戦出場権を獲得した。

■記録
佐賀東松ボーイズ 004 400 018
鹿児島吉野ボーイズ 001 000 100
（5回コールド）〔佐〕藤本
山口〔鹿〕中尾、森山 森
▽三塁打＝川原（佐）▽二塁打＝藤本2（佐）下脇田（鹿）
清武ボーイズ 223 203 000 12
鹿児島吉野ボーイズ 000 000 010
（5回コールド）〔清〕黒木達、黒木寛 崎村〔鹿〕森山下、森 馬原▽三塁打＝宮川、丸山政（清）▽二塁打＝宮川、黒木達（清）
※第2試合終了時点で佐賀東松と清武の本戦出場が決定

「選手権大会」宮崎県支部予選

「第44回選手権大会」中学生の部、宮崎県支部予選は15日に開幕。宮崎西部、宮崎中央、宮崎つしま、清武、小林、日向、延岡の7チームによるトーナメント戦で、日向市のお倉ヶ浜総合公園野球場などで、決勝の日程と会場は後日決まる。



◆写真お分けします◆
「報知ボーイズリーグスペシャル」に掲載された写真を有料でお分けします。【問い合わせ】スポーツ報知西部本社ボーイズ担当 ☎092・715・6289

2013/10